

原子力災害時の避難計画や公民館活動などで質問出る

市議会主催の議会報告会2日目の吉川会場

市議会主催の議会報告会の続報です。今回は2日目についてです。この日は吉川コミュニティプラザと有田地区のカルチャーセンターの2会場で開催されました。私は、吉川会場の報告会に参加しましたので、そこでの様子をお伝えします。

参加された市民は地元を中心に15人ほどでした。前日の大島会場と同じく副議長や各常任委員会代表の報告の後、質疑、意見交換が行われました。以下は主な意見、要望です。

◎選挙の投票率低い。ぜひパーセントをあげるべく努力してもらいたい。

◎大型の箱物建設の一方で市民の困窮が出ている。剣道やっているが交流大会をやる、使用料がぼんと上がるといふ問題がある。体育課などに申し入れていくつもりだが、100%減免を続けていっていただきたい。

◎地域協議会は地域の声を直接聴ける立場にある。我々の声を区民の声として聞いてほしい。

◎原子力災害避難計画は国や県任せにしてはい

けないと思っている。避難計画説明会を集落ごとにもやる計画はないのか。もっと小規模でやってもらえたらと思う。柏崎の避難計画説明会に行ってきた。国、県、東電から情報がスムーズに入るか不安に思っておられるようだ。混乱したなかで自治体同士、きちんと情報交換できるとききたい。

◎基金の種類どれくらいあって、残高はどれくらいあるのか。これからの基金活用の方向性についての考え方をききたい。

◎分館活動が活発に行われている。学校の元体育館を活動の場として使っているが、新しい防災計画では耐震強度がないということで避難所から外されている。耐震強化をやっていたかどうか考えれば、分館の活動拠点がなくなる。

◎旧旭小のグラウンドの草刈りをどう考えるか。

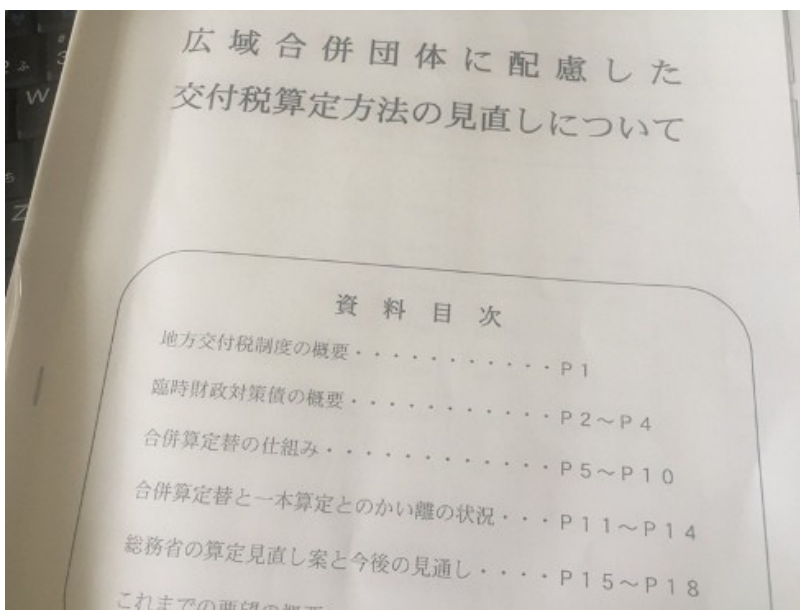


交付税など財政問題で議員勉強会開催

「広域合併団体に配慮した交付税算定方法の見直しについて」をテーマに市議会主催の議員勉強会がこのほど行われました。

地方交付税は、地方公共団体間の財源の不均衡を調整し、どこに住んでいようが一定の行政サービスを受けられるよう財源を保障するためのもの。平成の大合併をした自治体では、合併後11年目からこの算定方式が変わりますが、合併時点では想定されなかった財政需要もあり、いま関係自治体ではそれらを交付税算定に反映させるべく努力が続いています。

この日の勉強会では地方交付税の仕組みの基礎を学ぶとともに、こうした動きについても学びました。



【シライツソウ】ユリ科の多年草。漢字で「白糸草」と書きます。今回、初めて出合いました。林の縁に糸くずのような白い花が見えたら、間違いなくこの花です。吉川区にて2日に撮影。

◎三和区宮崎新田の産廃は24年経過しているが、いまだに残っている。市が自分の土地に放置している。市議会はチェックできなかった。法的にどうなのか検討した形跡がない。産廃は野ざらしで置いてある。県は違法だと認めた。(市議会での請願不採択という)あの決定は妥当であったか検証をやってもらいたい。市議会でも出された意見、要望は、前日の1日目と同様、市議会に設置している課題調整会議で検討され、その結果は公表されます。

はしづめ法一の
活動レポート

No.1764 2016.7.10

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第四二二回 クッション

ここの二、二年の間に母はクッションを使うようになりました。母の普段の居場所となつて居間には、いつも二つのクッションが置いてあり、母は仕事をするとき、物を食べる時、テレビを観るときなど、いろんなときに使っています。

二つのクッションのうち一つは縦四〇センチ、横六〇センチほどの四角形で、縞模様がついています。もうひとつはペンギンの赤ちゃんのぬいぐるみです。こちらは五〇センチ程度の丈があります。いずれも、父の従妹にあたるSさんからのプレゼントです。母はこのふたつを別々にではなく、いつも重ねて使っています。

居間にいる時の母はいつも後ろに倒れかかった姿勢でいます。そうすね、数字で言えば、寝ころぶとき以外は二〇度から一四〇度くらいの角度でしょうか。もつと、体を起こしていた方が楽だと思ふのですが、体を一番起こしている食事、お茶飲みのときでも二〇度くらいです。

晩秋から春にかけて、わが家の居間にはコタツがあります。母はコタツに足を突っ込みながら、イモ類の皮むきなど、ちよつとした手作業をしています。自分の体の左右に新聞紙とサトイモなどを置き、上向きになりながら包丁を使ってそれらの皮をむく。よくこんな姿勢で仕事ができるものだと思います。

先日、母がアイスモナカを食べているときの様子をまじまじと見ました。こんなに倒れてしまつて大丈夫かと思うくらい倒れた状態になりながら、モナカをパクリパクリと美味しそうに食べていました。

物を食べているときよりも母の角度がさらに広がり平らに近づくのは寝ているときです。このとき、クッションは完全に枕の役割を果たしています。母が目をぴっちり閉じて寝ているときに、「ばちゃ」と声をかけると、閉じた目をやつと開け、私の顔を見て、「おおっ」と驚きます。耳が遠くなり、私の声が聞こえにくくなつたんですね。

もつとも、最近、母は昼寝のときにはベッドへ行つて横になることが多くなりました。母は二つのクッションを居間の自分の定位置に置きっぱなしにしてはいません。山菜を採ってきたときや笹の葉を採ってきたときには、居間の南側にある廊下と居間の間にある障子戸のところへ持つて行き、そこで仕事をしています。笹の葉の選別作業をやるときには、上の方から見ると、まるで寝ころんでいるように見えますが、笹の葉をプチツともぎ、いらぬ部分は左の方へ、葉は右側の方へときれいに並べるようにしていました。

ちよつとした仕事でも、物を食べているときでも二つのクッションは、母を背中のところでもしつかり支えてくれています。いまやクッションは母が普段の生活を送るうえでなくてはならぬものとなりました。

この二つのクッション、母はよほど使い心地がいいと判断したのか、私が居間でテレビを観るために横になつてみると、「とちや、これ、使え」といったふうに分身の背中から外して私の方に差し出します。正直言いますと、居間でこのクッションを使って横になつてみると、気持ち良くなつて長時間にわたり、そこで寝てしまします。

そんなわけで、なるべく使わないようにしようと思つていたのですが、最近、夜遅くなつて帰宅すると、二つのクッションは私の座る場所においてあるのです。物忘れが進んだとはいえ、子どもを思う親の気持ちに変わりはありません。母がそこまで気にかけてくれているのに使わないのは悪いなと思ひ、私も時どき使っています。

室内でも楽しく、元気に12回目の体育祭

3日は吉川区体育祭でした。合併してから12回目、合併前から通算すると54回目の体育祭となります。この日はあいにくの雨、開会式も競技もすべて室内となりました。区

内から500人ほどの人たちが参加しました。

来賓席が高いところにあつたので、少し高い位置から競技を観ることにしました。玉入れ、大玉送りなど新たな角度で観ることができました。参加者の皆さんは、みんな元気に楽しく競技を行っていましたね。競技者だけでなく観戦する側も楽しませて



いただきました。勢いよくボールを投げたら投げた人のところにボールが戻ってきてしまったなど思わぬ展開もいくつかありました。写真はつなひきの模様です。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

| | 6月29日(水) | 7月6日(水) |
|--------|----------|---------|
| 上越南消防署 | 0.040 | 0.043 |
| 上越北消防署 | 0.050 | 0.057 |
| 新井消防署 | 0.047 | 0.053 |
| 頸北消防署 | 0.053 | 0.043 |
| 頸南消防署 | 0.053 | 0.063 |
| 東頸消防署 | 0.047 | 0.057 |
| 高士分遣所 | 0.047 | 0.043 |
| 名立分遣所 | 0.053 | 0.053 |



モウセンゴケ開化へ

今年、生まれて初めて出合ったモウセンゴケ。6月から8月には花をつけるというので、時どき、大島区田麦まで出かけています。先週、白いつぼみが見られるようになりました。このレポートがみなさんのところにつく頃、開花しているかも……。楽しみです。